

加西市気候エネルギー行動計画(加西市地球温暖化対策地域推進計画)(案)パブリックコメントの実施結果

ご意見	回答
<p>温室効果ガス削減目標の総量に加え原単位管理(生産高原単位など)も追加すべきと思います。 総量だけだと経済環境の変化で数値が変動するので取り組み内容が効果的に貢献しているかの判断が困難だと思います。</p>	<p>ご指摘の通り、取り組みの効果を評価・検証するためには原単位等により管理する手法も有効と考えます。一方、本市では 2050 年のカーボンニュートラルを目指しており、温室効果ガス排出量の実質ゼロが最終的な目標となっていることから、本計画においては、温室効果ガス排出量の総量に着目し目標を設定することといたしました。</p>
<p>各取組内容の KPI を設定すべきではないでしょうか？ 例えば市民の取り組み内容がどの程度削減に寄与するのが明確になっていないとフォローのしようがないように思います。</p>	<p>本計画では、可能な限り各取り組み内容に紐づく活動指標を設定(具体的には、市が実施する取り組みに対して 18 指標、重点プロジェクトの指標として 5 指標)しています。これらの指標については、今後も、定期的に評価・検証を行い、必要に応じて目標や指標の見直しを行い、適切な進捗管理及びフォローアップに努めてまいります。</p>
<p>効果的な取り組み事例紹介として家庭版、企業版の省エネ事例集の広報誌と一緒に配布することをはどうでしょうか？ また、効果的な取り組み事例を募集し、有効と思われる提案にはネッピーpay ポイントの付与等のインセンティブを提供しては？</p>	<p>事例紹介やインセンティブ付与は、各主体の取り組み促進に際して極めて重要な要素であると認識しております。財政状況や他の優先事項等も考慮しつつ、全体的なバランスをみながら、今後のエネルギー行政の参考とさせていただきます。</p>
<p>月次進捗状況を加西市 HP や広報誌、公共施設に掲載、掲示するなどして周知を図ってはどうでしょうか？</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。 計画の進捗状況については、グラフを交えた資料を作成し、年次毎に市 HP で報告させていただくこととします。また、より多くの皆様にご認識いただけるよう、その他の情報媒体を活用した周知方法についても検討してまいります。</p>
<p>公共施設のエネルギー管理としてスマートメータによるリアルタイム監視システム導入してはどうでしょうか？ スマートメータ間をネットワークで繋ぎ電力消費状況が見える化し、各施設間の取り組み意識の高揚を図る必要あるのでは？</p>	<p>スマートメータを活用したエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の見える化について、本計画では事業者の取り組み事項としていますが、今後は公共施設における導入も視野に入れ、取組意識の醸成、またエネルギーの効率化を検討してまいります。</p>
<p>省エネ機器等の導入には効果的な補助金制度の導入を検討してください。</p>	<p>当市の目指すゼロカーボンシティの実現にあたり、省エネ設備の推進は重要な課題の一つであると認識しております。補助金制度を含めた推進支援について、財政状況や他の優先事項等も考慮しつつ、検討してまいります。</p>
<p>私どもの団体は「ぐるり加西」という「0円おゆずり交換会」というのを不定期開催しております。『モノを捨てない、作りすぎない、シェアして楽しむ』そんな循環型社会を構築したいと思っています。今ある地球を100年後の未来の子供達に残していくためにも、物を捨てるのではなく、自分がいらなくなっても誰かに使ってもら</p>	<p>本計画では、「ごみ減量の推進」、「地域主体の活動支援」等を積極的に推進することとしており、今後も皆様の活動を注視し、行政としても循環型社会構築への取り組みを行ってまいりたいと考えています。その取り組みの一環として、費用対効果の検証が困難である等の理由から中断してまいりましたリサイクルプラザの運営に</p>

<p>う、反対に誰かのいらぬものを大事につかわせてもらう。そういった優しい気持ちも循環すればいいなと思って活動しています。是非、私たちの活動を行政からも支援していただければ嬉しいです。次回は3/31にイオン加西北条にて行いますので是非見学にいらしてください。</p>	<p>ついて、令和6年4月より、品目限定により再開を検討しております。</p>
<p>ゴミの日に生ごみを回収して、堆肥を作ってはいかでしょうか。実際に福岡県大木町は「ゼロ・ウェイスト宣言」をして、生ごみを週2回収し、発酵槽で発酵させ、できた液体肥料は農家さんたちに配られるそうです。神戸市の弓削牧場でも同じような取り組みがあり、発行してできたガスも燃料に使っているそうですね。また、先日神戸新聞に北条東小学校の5年生がSTEAMの学習発表会で同じような提案をされていたと載っていました。ここは是非、STEAM学習で子どもたちが考えたことを行政が支援し実現すれば、ものすごいことになるのではないのでしょうか。</p>	<p>過去には生ごみの堆肥化を検討し、モデル地区として行う計画がありましたが、市民一人一人の分別意識を変えるのに相当な努力が必要であること、また発酵槽の維持管理の困難さに加え、費用対効果の観点から、当該計画を断念した経緯があります。現在は、ごみターミナルに排出される廃棄物のうち、4～5割が生ごみ、そのうち8割程度が水分であるとの認識から、まずは各家庭で導入可能なごみ減量機器に対する補助事業を創設し、分別意識の醸成を図っております。また、市が主体となる取組として、平成26年より剪定枝を利用し、堆肥化を行っております。</p>
<p>市民の意識を変えるには、環境活動家の方の講演を聞いてもらうのが一番早いと思います。実際に活動し行動しておられる方の言葉は一人一人の心に深く響くと思います。世界的に有名な環境活動家「谷口たかひさ」と言う方がおられ、加西市で昨年2度講演会を開催しましたがとても好評で、もっとたくさんの方にこの話を聞いて欲しいという声をたくさんいただきました。なお、谷口さんは国連で環境スピーチをしたり、国会の勉強会の講師として呼ばれたりしている方で、映画「夢みる給食」に出演したり、「シン・スタンダード」という本も出されたりしています</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。頂戴したご意見は、今後のエネルギー行政の参考にさせていただきます。</p>
<p>行政のイベントなどでペットボトル飲料を配るのはやめたらどうでしょうか。昨年、加西市民会館で行われた「環境講演会」にも参加させていただきましたが、受付でペットボトル飲料が配られたのがとても残念でした。ペットボトル飲料は加西市では100%リサイクルされているのでしょうか？おそらく、サーマルリサイクルがほとんどではないのでしょうか。まずは、ペットボトルの使用を減らしてはどうかと思います。ペットボトル飲料を飲めば容器はゴミにもなりますし、環境ホルモンや、飲料水の中のマイクロプラスチックも最近かなり問題になっています。元を締めないと、いくら小手先のことをしても、いつまで経ってもゴミは減りません。ましてや、ペットボトルは環境負荷が非常に高いです。マイボトルをもっと推奨しましょう。そのためには、まずは行政がイベントで配らない、会議で使用しないことだと思います。</p>	<p>市民・生産者・自治体の三者が一体となって取り組まなければならない問題であると考えており、特に、市民一人一人が『ごみをしない、ごみを出さない』さらには、可能な限り『再使用・再利用』という意識を持ってもらうため、各ごみターミナルでの分別回収を行い、加西市中間処理施設により圧縮梱包を行い、再資源化(リサイクル)に取り組んでおります。</p>
<p>2000年に施行された「容器包装リサイクル法」が軽ん</p>	<p>本市では、容器包装リサイクル法の規定に基づき、加西</p>

<p>じられている気がします。特に「事業者はその事業において用いた、又は製造・輸入した量の容器包装について、リサイクルを行う義務を負います。」とあるのですが、これはどこまでできているのでしょうか。加西市という一自治体が事業者へ責務を負ってもらうのを願うのは難しいかもしれませんが、ヨーロッパでは、容器の材質によって容器リサイクルのためのお金(ライセンス料金)が上乗せされて販売されています。環境負荷の高いペットボトルなどは売値がとても高くなり、またその容器を小売店などにもっていくと、お金が一部戻ってくるデポジット制のような仕組みが充実していて、ゴミをその辺に捨てる人がいないと聞きました。空き容器はゴミではなくて、資源であり、お金(になるもの)だからです。こういう仕組みに似たようなものがあれば、もっとゴミは減らせるのではないのでしょうか。むしろ加西市独自の法令を作ってもよいのかもしれませんが…。または反対に循環資源を使った容器には補助金を、そういった品物を購入した消費者にはお金やポイントの還元をしてみてもいかがでしょうか。環境負荷の少ない製品はねっぴーポイントがたくさんつくなど。なお、近隣の加古川・高砂・稲美・播磨の2市2町では、サントリーとペットボトルの「ボトルtoボトル」の水平リサイクル協定を結んでいます。</p>	<p>市分別収集計画を策定しております。本計画では、最終処分量の削減を図るため、一般廃棄物の中でも特に比率が高い容器包装廃棄物の分別収集、ならびに発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)を推進、また市民・事業者・行政それぞれの役割や、関係者が一体となって取り組むべき方針を示しています。</p> <p>今後も、本計画の方針に則り、廃棄物の減量や最終処分場の延命化、また資源の有効利用を図ることで、循環型社会の形成を推進してまいりたいと考えております。しかし、ご意見の通り、当市が独自で行う取組としては、困難な面もあると考えます。水平リサイクルについても、数年前に計画を予定しておりましたが、当市のペットボトル排出量だけでは採算が取れないという結論に至ったため、現在は独自でのリサイクルを実施しております。</p>
<p>量り売りのお店(ゼロウェイストショップ)を作ってください。そういったお店に補助金を出してください。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。現在の法令等の枠組みの中では、市が独自に補助金を出すことは困難であると考えています。</p>
<p>再生可能エネルギーを増やすために太陽光発電システムを導入するのは良いと思いますが、ため池での太陽光発電に関しては反対です。(既存住宅やビルへの設置は良いと思います)ため池内の生態系にこういった影響があるかわからないからです。生態系への影響はないと回答している業者もありますが、短期的ではなく長期的に観察し考察してほしいです。そもそも太陽光パネル内が損傷した際に有害物質がため池へ流れ込んでしまったり、配管が劣化してマイクロプラスチックが発生し流れ込む危険性があります。加西の美しいため池の景観を損なわないためにも、ため池への太陽光パネルの設置は反対します。</p>	<p>兵庫県では、太陽光発電施設等と地域環境との調和を図ることを目的とした条例が制定されており、一定規模以上の施設に対して、導入時の環境配慮が義務付けられています。また、当該条例は現在改定中であり、今後は、ため池の環境に着目した規定も追加される予定となっていることから、ため池における動植物の生息域の確保及び景観について、無秩序な開発は一定防ぐことが出来ると考えております。</p>